

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

智頭町長 金 兒 英 夫

市町村名 (市町村コード)	智頭町 (313289)
地域名 (地域内農業集落名)	板井原地区 (板井原集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

令和4年5月実施の農業・農地に関するアンケート調査によると、当地区でアンケートに回答した農業者の平均年齢は75.5歳であり、いずれも後継者のめどが立っていない。  
当地区は標高が高く、地区内へと続く県道は、冬季に積雪により通行が困難になることもあり、地域内に年間を通じて居住する住民はわずかである。農業者も、ほとんどが標高の低い別の地区に居住していることや、高齢化、担い手の不足などにより、維持・管理できる農地の減少が続いている。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

当地区は、鳥取県伝統的建造物群保存地区に認定されていることから、地域内での話し合いを継続し、農地の維持・管理と集落の保存・管理とを一体的に考えていく。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	7.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	0.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

智頭町大字市瀬(板井原集落)地内で、小規模な畑を除き、現在耕作が行われている比較的条件の良い農用地とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
集落の保存とあわせて、地域内での話し合いを継続し、検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
状況にあわせて検討する。
(3)基盤整備事業への取組方針
現時点では不要であるが、必要に応じて検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
集落の保存とあわせて、地域内での話し合いを継続し、検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農地の保全・管理にあたり、活用できる事業者があれば検討する。

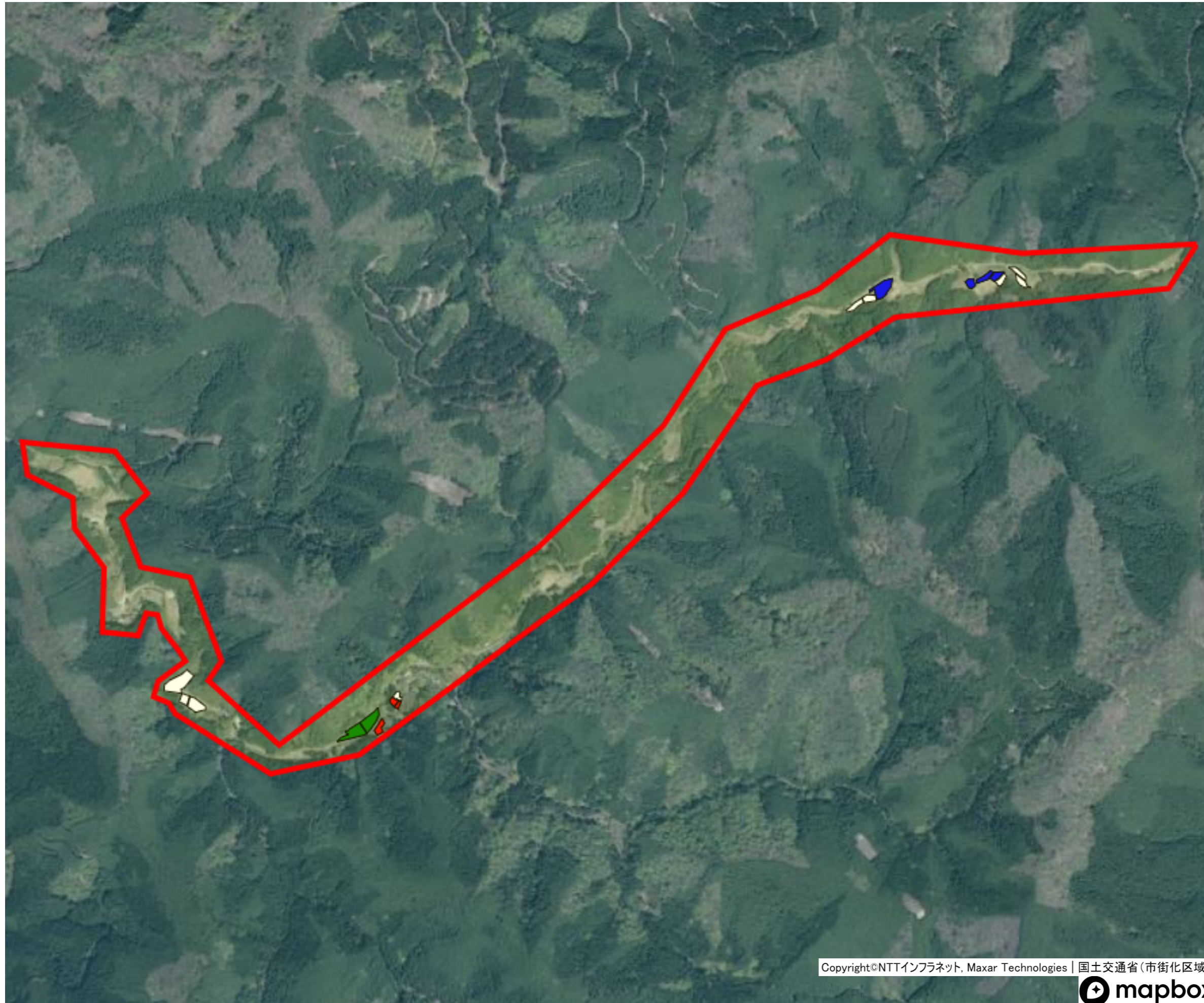
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

②集落の保存、管理と一体的に検討する。

# 板井原地区目標地図



目標地図(確定)

- A
- B
- C
- 検討中農地